

「青木野枝 | ふりそそぐものたち」展関連コンサート

波紋音コンサート in 豊田

はもん

2012年11月24日【土】美術館内

時間:13:30開場 14:00開演

出演:永田砂知子 (パーカッション奏者)

※コンサートは無料です

鉄の彫刻家青木野枝の作品は、鉄板を溶断、溶接し、円や丸などの基本となるかたちをつないで作られています。鉄でありながら重量を感じさせず、上昇や生成の動きを感じ、まわりの空間さえも飲み込んでしまいそうです。コンサートでは、鉄の楽器、波紋音（はもん）から奏でられる不思議な音色が、鉄の青木作品の空間を風のように響きわたり、その場にいる人々を優しく包み込んでくれるでしょう。

（総合プロデュース 中野真理子）

〈出演者プロフィール〉

永田砂知子（パーカッション奏者・即興演奏家）

東京藝術大学打楽器科卒業 クラシックのパーカッション奏者としてキャリアを積むが、90年代から、即興演奏によりボーダレスな世界で活動を始め

る。93年Derek BAILEY「COMPAGNY」、94年John Zone「COBRA」、98年Butch MORRIS「CONDUCTION」1ヶ月間の全米ツアーなど、様々なセッションに参加。

97年に造形作家・斉藤鉄平制作の鉄のスリットドラム「波紋音」に出会い、波紋音だけで独自の世界を表現するようになる。06年宮城県の能舞台・「森舞台」、07年京都・法然院、08年高知・竹林寺、09年パリStudio4'33" 北海道・アルテピアッツァ美瑛（舞踏・竹内実花）、11年横浜三溪園・燈明寺本堂（企画・演出・美術・荒川尚也）、12年川崎市岡本太郎美術館（特別出演・大野慶人）にてソロ公演。美術、映像、ダンス、舞踏、地唄舞、語り、書、などとコラボレーション多数。

音の出る美術作品として、2005年より金沢健一の「音のかげら」、2000年より渡辺泰幸の「土の音」でもかかわる。

04年音楽療法学会大会・講習会講師を務める
06・07年国際芸術センター青森で創造的なワークショップを行う。07年明治大学リバティアカデミー講師「音の源流を求めて～鉄の響き・波紋音～」で、演奏と講演を行う。

05年CD「波紋音」、10年CD「le hamon」リリース

<http://www.nagatasachiko.com>



波紋音（はもん）とは…造形作家・斉藤鉄平が鉄を鍛造して作ったスリットドラムでオリジナルな楽器であり美術作品でもある。水琴窟にインスピレーションを受け作られ、水の波紋のように音が広がるイメージで波紋音と命名された。



展覧会のお知らせ

10月13日（土）～12月24日（月・祝）

企画展「青木野枝 | ふりそそぐものたち」

コレクション展「Organic Form」

高橋節郎館「円環 —現代美術と漆の饗宴—」